

平成26年度 安全報告書



平成27年9月報告



天竜浜名湖鉄道株式会社

I. ごあいさつ

日頃、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

弊社では、安全で安定した列車運行の継続が鉄道事業者の最大の責務として、鉄道施設・設備の更新・保守管理並びに社員のスキルアップ及び安全意識の向上・徹底に努めております。

平成23年8月の遠州天竜舟下り転覆事故を教訓として、「安全・安定した列車運行の継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進、大規模地震に備えた耐震計画の策定など社員一同が、全力でお客様の信頼の確保に努めるとともに日頃の鉄道運行の安全対策に万全を尽くして参ります。

また、平成26年度においては、特殊自動閉そくシステムの老朽化に伴い新たな信号保安設備の導入に取り組んでおり、さらなる安全性の向上に努めているところでございます。

なお、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、平成26年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され、親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。



天竜浜名湖鉄道株式会社
代表取締役社長 植田 基靖

II. 安全確保のための基本方針と重点施策

1. 弊社では、これまで、利用者の皆様方が、利用しやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう「安全」「正確」「共存」を社是として定めて、会社運営にあたって参りました。

運転の安全に関する規範として、綱領を次のとおり定めております。

- 一. 安全の確保は、輸送の生命である。
- 二. 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 三. 執務の厳正は、安全の要件である。

2. 平成26年度の安全重点施策は、「安全・安定した列車運行の継続」を掲げ、次の3つの柱を設定しました。

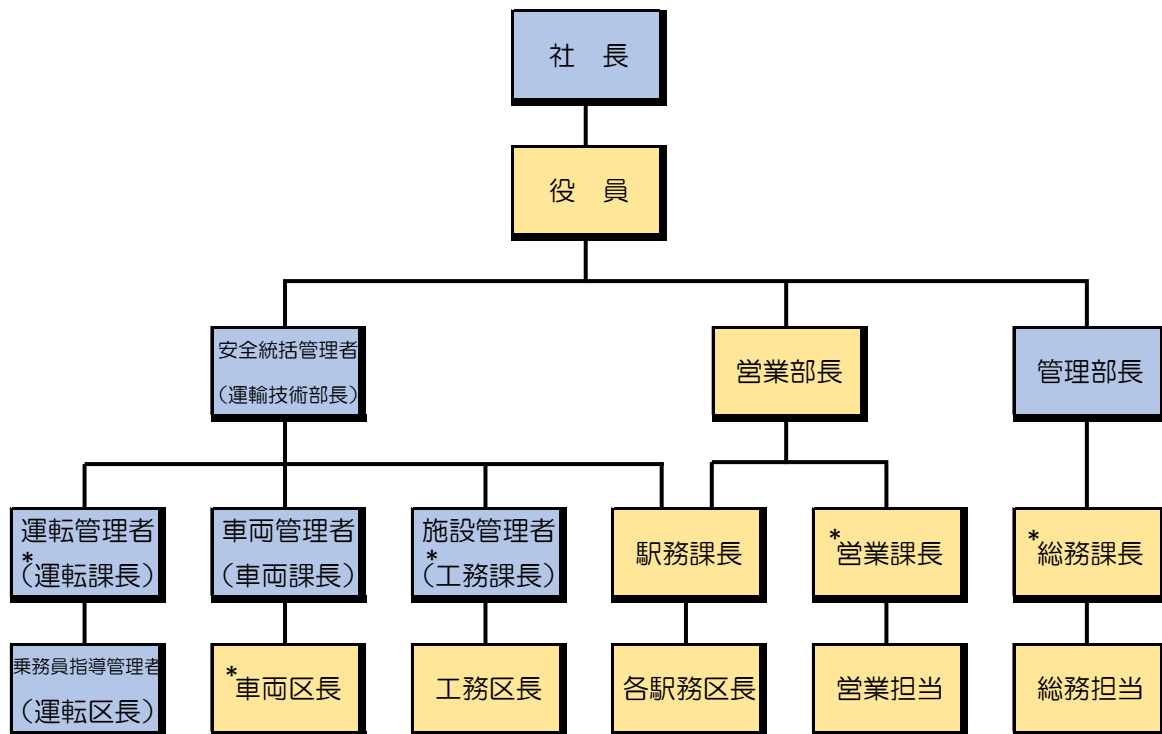
- (1) 安全輸送設備等の整備
- (2) 老朽化施設の耐震対策
- (3) 計画的な教育訓練の実施

3. 平成26年度から安全管理に対する具体的な数値目標を、「300万km有責運転事故ゼロ」と定め、平成27年3月末現在、127万kmを達成しております。

Ⅲ. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者（運輸技術部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者（運転課長）	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者（工務課長）	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両管理者（車両課長）	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。



* 上席者が兼務

Ⅳ. 輸送の安全確保への取り組み

1. 平成26年度に実施した取り組み

(1) 安全対策委員会

安全管理の各責任者及び各現場長による安全対策委員会を開催し、社員の安全意識の高揚や安全教育等に関する事項を協議するほか、輸送障害の原因分析等を行い安全対策に努めております。平成26年度においては、南海トラフ地震防災対策推進基本計画により、津波発生時の旅客対応や列車運行等を定めた防災規程を策定しました。



安全対策委員会

(2) 安全管理体制（PDCA）の強化

安全管理に係る様々な取組について、実施状況を把握するとともに、課題検討にかかる進捗状況等を管理するために、27年3月に新たに体系図を作成してチェックしていくことにいたしました。これによって、安全管理にかかる諸課題の「見える化」を進めるほか、各部署における具体的な検討・実施の段階について、社内での課題共有を進めてまいります。

(3) 新たな信号保安設備の導入

現行の特殊自動閉そくシステムの老朽化に伴い、平成26年度から3か年にわたり計画的に全区間の信号保安設備を更新してまいります。

この更新によって、全線にわたる列車の運行管理が、運転指令室で一元的に管理・制御することが可能となり、より安全・安定した列車運行が可能となります。

平成26年度は、特殊自動閉そく方式として「線区集中電子連動システム」の導入を決定し、第1期（平成26年度）工事を実施、天竜二俣駅から新所原駅間での部分共用を開始しております。更新工事の内容としては、

- ①天竜二俣駅構内に集中連動装置の論理部となる機器室の新設
 - ②運転区指令室への表示制御盤の新設
 - ③宮口駅から新所原駅間の連動駅の電子端末機器の新設
- 以上、3点を実施いたしました。



線区集中電子連動システム

(4) ヒヤリハット報告

業務の安全確保に対する社員の意識を向上させるため、毎月の定例会議で各課、区におけるヒヤリハット情報を取り上げ情報の全社共有化と社内横断的な対策を検討し実施しております。

(5) 内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、年1回、常勤監査役と内部監査員に指名した社員による内部監査を実施しております。

(6) 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全管理に関する社員力の向上を図るため、安全統括管理者が年間の教育訓練計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。



災害対策本部設置訓練

平成26年度は、大規模地震発生に備え災害復旧対策本部の設置訓練を行い各自の役割分担を確認しました。この他、信号保安設備（閉そく装置）の部分更新に伴い全社員を対象に講習会を実施したほか、現業社員に対する習熟訓練を実施しました。



踏切事故防止啓発活動

(7) 踏切事故防止のための啓発活動

交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として踏切及び駅舎において踏切通行者や鉄道利用者に対し一旦停止や左右の安全確認等を呼びかけるなど、踏切事故防止の啓発活動を行っています。



警察署員と避難地を確認

(8) 地元警察署との避難地に関する情報共有

自然災害発生時に備え、地元警察署員と共に駅指定の避難地を回り、場所等の確認を行い避難地に関する情報の共有を図りました。

(9) 請負業者の安全指導

安全で的確な工事管理を推進するため、平成24年度から、弊社独自の工事管理者資格制度を設け、管理方法の習得と定期的な講習を請負業者に義務付けております。平成26年度は工事管理者45名に対し保安講習を行いました。

V. 平成26年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

平成26年度は、運転事故、インシデント（事故の兆候）はありませんでした。輸送障害については、車両関係2件、電気施設3件、自然災害7件、その他5件の合計17件が発生しました。なお、安全管理の数値目標である「300万km有責運転事故ゼロ」は、継続して達成しております。

平成24～26年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
運転事故	1件	0件	1件
インシデント（事故の兆候）	0件	0件	0件
輸送障害	19件	16件	17件

※輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものです。

○主な運転事故・輸送障害の概況

- 平成26年4月30日発生：自然災害（倒木）

列車走行中、運転士が線路を支障している倒木を発見し、直ちに非常停止を行い運転指令へ通報した。運転指令より連絡を受けた工務区長は、係員を現場へ派遣し撤去作業を行い、2時間30分後に運転が再開された。

- 平成26年7月22日発生：自然災害（雷害）

落雷により電力会社の電力供給が停止し、広域停電が発生した。知波田駅は、この停電エリア内に入っていたため同駅の信号設備が使用不能となった。このため停電が復旧するまで列車の運転を見合わせた。

- 平成26年10月6日発生：自然災害（水害）

台風18号の影響により、始発列車より運転を見合わせていた。台風通過後、線路を点検した結果、各所で道床流出等が確認されたため復旧作業を行い、19時40分過ぎ全線が復旧開通し、運転を開始した。

- 平成26年10月13日～14日発生：自然災害（水害）

台風19号の接近により、17時以降の運転を取り止めとした。台風の通過を待ち、翌朝より線路巡回を行い、安全確認ができた区間より運転を開始し9時30分頃、全線正常ダイヤとなった。

- 平成27年1月24日発生：人身障害（線路内立入り）

列車の走行中、運転士は、橋りょう上でしゃがみ込んでいる一般公衆を発見し、直ちに非常制動を行ったが、これにおよばず接触し列車は橋りょう上に停車した。通報を受け救急隊が駆け付け救命活動に移るも、一般公衆の死亡が確認された。

VI. 運輸安全マネジメントの実施

国土交通省中部運輸局による運輸安全マネジメント評価が、平成26年10月21日に実施され、社長、安全統括管理者、管理部長の3名が安全管理体制の構築に関するインタビューを受けるとともに、文書や記録等の確認を行いました。これは、鉄道事業者としての安全管理体制が適切に構築され、それがシステムとして適切に機能しているかについて、「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」を指針として国が事業者の取り組みに関し、さらに推進すべき事項について助言等を行うものです。

今回の評価結果としては、数値目標の設定や達成状況の検証方法、ヒヤリハット情報の活用等の取組など、安全管理体制の構築・改善に向け、経営トップをはじめ職員一丸となった取組について一定の評価を頂いております。


VII. 施設整備・保守検査等の計画的な取り組み

(1) 平成26年度の施設整備・保守検査の実施状況

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業や、緊急老朽化対策事業等の補助を得て、以下の施設整備、保守検査を行いました。

なお、施設整備費用は403,369千円、車両関係は59,695千円でした。

区分：設備改修	整備内容
線路設備	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート枕木化 ・レールの重軌条化 ・トンネルの改修（漏水対策工事） ・橋りょうの改修その他
 <p data-bbox="391 1031 758 1065">レールの重軌条化（釣橋川）</p>	 <p data-bbox="821 1031 1276 1065">トンネル漏水対策（利木トンネル）</p>
電路設備	<ul style="list-style-type: none"> ・通信支柱のコンクリート柱化 ・信号保安設備の更新（踏切遮断機） ・電路施設の更新（閉そく装置：線区集中連動装置）
 <p data-bbox="502 1576 742 1610">信号機器室の新設</p>	 <p data-bbox="821 1576 1236 1610">閉そく装置（電子端末）の更新</p>

区分：耐震化対策	整備内容
施設の耐震補強	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転区高架貯水槽の耐震補強工事
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="193 244 772 628">  <p style="text-align: center;">耐震補強施工中</p> </div> <div data-bbox="772 244 1378 628">  <p style="text-align: center;">耐震補強工事完成</p> </div> </div>	
区分：車両検査	整備内容
検査修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般検査（計1両） ・ 重要部検査（計3両） ・ 車輪削正（計4両）
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="193 834 772 1217">  <p style="text-align: center;">重要部検査（探傷検査）</p> </div> <div data-bbox="772 834 1378 1217">  <p style="text-align: center;">重要部検査（機関性能試験）</p> </div> </div>	
区分：その他	整備内容
新駅の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森町病院前駅の新設（遠州森駅～円田駅間）
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="193 1333 772 1716">  <p style="text-align: center;">新駅建設中</p> </div> <div data-bbox="772 1333 1378 1716">  <p style="text-align: center;">新駅（森町病院前）完成</p> </div> </div>	
保全・保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草薬散布 ・ 電気設備保全点検や電子閉そく装置点検など
その他修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設関係及び車両関係など

(2) 平成26年度の軌道の整備状況

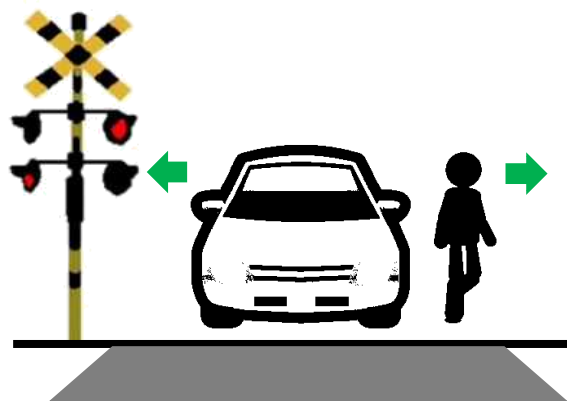
弊社では、軌道検測車により年2回、徒歩により年1回、軌間、高低、通り、平面性等の状態を計測し、年1回、レール、枕木等の軌道材料の検査を行うとともに、週1回の列車巡視を行っております。

社内整備基準値を超過している箇所については、速やかに修繕を行っております。

Ⅷ. ご利用の皆様・沿線住民の皆様にお願

事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- 駆け込み乗車は危険です。余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- 線路内には、立入らないでください。大変危険です。
- 踏切では、必ず一旦停止をし左右をよく見てから渡りましょう。



Ⅸ. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311

静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2

天竜浜名湖鉄道株式会社

TEL 053-925-6125

(土曜・日曜・祝日を除く、9:00~17:00で受付)

